

## 別記様式（第5関係）

## 会 議 録

会議の名称	青嵐中学校建替協議会（第11回）
開催日時	平成15年 8月19日（火） 午後3時00分から5時00分まで
開催場所	青嵐中学校 2階 視聴覚室
出席者	（委員）谷澤会長、柴田副会長、西原委員、稲津委員、鈴木委員、岡田委員、杉本委員、宮本委員、蓮見委員（欠席豊島委員、安藤委員、高橋委員） （設計業者）教育施設研究所3人 （事務局）田口部長、二谷課長、砂押係長、福田主査、守矢主事
議 題	・配置計画について
会議資料	・各階平面図イメージA案、C案 ・各階平面図（案） ・意向調査結果集計
会議内容	発言者の発言内容ごとの要点記録
発言者名	発言内容
谷澤会長	開会宣言、本日の議題の説明 教育施設研究所に資料の説明願いたい。
教育施設 研究所	A案については、北側に校舎があり、北側の日照の関係で、校舎が少し南側に下がるため、運動場について、200mトラックは不可能になり、150mトラックになる計画になる。普通教室については、各階、学年ごとになり、普通教室を日の当たる南側にすると、校舎北側部分が特別教室になってしまい、北側住民に対して、環境問題がでてくる恐れがあるであろう。各教室の配置について、西側、東側の教室等を変更することはできるが、北側、南側の教室の変更はできないであろう。 工程計画については、A、C案同じであるが、2年計画（案）の場合、平成16年度の1月から3月に、仮設校舎、体育館の建設、17年度の4月から6月に、既存の校舎体育館の解体を行い、約2年間、生徒は仮設校舎、体育館を利用し、その間に新設校舎、体育館の建設を行う予定である。 3年計画（案）の場合は、仮設校舎を建設して、既存のプール、体育館を使用しながら、新設校舎を建設し、新設体育館を19年度に建設するので、1年間工期が延長することになる。 C案については、縦に集めることで、北側住民への環境面などの影響は少ないであろう。運動場については、トラック200mは可能になるが、西日の日当たりについては、A案よりは、悪くなる。

	<p>工程計画については、A案とほぼ同じであるが、3年計画（案）の場合、東側既存校舎を使用できるため、仮設校舎が3棟ほど少なくて済む。以上である。</p>
谷澤会長	A案について、質問はあるか。
宮本委員	都市計画道路が出来ると、学校側に制限が出てくるのではないか。
田口部長	門の位置を変更するなど出てくるであろう。
柴田副会長	A、C案とも、プールは校舎の屋上であるが、体育館の上にはつukれないのか。
教育施設研究所	体育館の上にプールをつくることは、梁が大きくなり、高さ的にも困難であり、金額的にも増していく。また、工期が3年計画になった場合、地下武道場、プールを上につくるとなると、体育館を1年間で建設することは難しくなってしまう。
西原委員	平面図をみると、都市計画道路が出来ると、テニスコートがなくなってしまうそうなので、屋上にテニスコートを設置できないか。
田口部長	屋上又は校地内に、どのくらいのスペースがとれるのか、教育施設研究所に検討していただきたい。
教育施設研究所	検討したい。
杉本委員	意向調査の要望には、プールの屋根を開閉式にしてほしいとあるが、難しいのか。
教育施設研究所	かご状と判断され、建物となると難しい。
宮本委員	普通教室を、地下に配置することは考えていないのか。
田口部長	採光がとれなくなり、湿気の関係もあるので考えていない。
宮本委員	音楽室は、地下がよいのではないか。
田口部長	音楽室を上階に配置した場合、防音の窓を設置したい。
西原委員	栄小学校の運動場のトラックは150mなのか。
稲津委員	そのくらいであろう。校舎、運動場のスペースを考えると、C案がよいのではないか。
柴田副会長	風、光を考えると、A案がよいのだが、運動場のスペース等を考えると、C案がよいのではないか。

田口部長	民地の建物によって、影ができる等問題があるが、所有者と引き続き、交渉していきたい。
岡田委員	民地については、協議会として交渉できるのか。
谷澤会長	諮問の内容からみると、協議会に権限はないのではないかと。
田口部長	協議会に権限はない。
谷澤会長	協議会に権限はないが、教育委員会、市議会議員等に協力していただき、交渉していただきたい。 具体的に、A案、C案どちらがよいか。
稲津委員	C案の方が、全体のスペースが広くとれ、後で、変更、修正が可能ではないかと。総合的に判断し、C案ではないかと。
谷澤会長	もう一度、A案、C案の平面図を比較していただき、確認していただきたい。 では、C案で決定してよいか。
委員一同	よい。
谷澤会長	では、C案に決定する。 工期日程については、協議するのか。
砂押係長	事務局サイドで決めることになる。
稲津委員	工期が1年延長し、3年間となると、相当影響があるので、外部に運動場を確保するなどの措置をしていただきたい。
谷澤会長	工期については、事務局サイドにお願いするだけでなく、協議会でも協議する必要があるため、次回以降の協議会で検討したい。
砂押係長	ここで、C案について、詳しい平面図を協議会に資料提供したいがよいか。
田口部長	資料について、教育施設研究所に説明願いたい。
教育施設研究所	この平面図には、具体的に部屋名を入れた。地下に武道場、ミーティング室、部室等を設け、1階南側に監理等、北側に図書室、コンピューター室、ランチルーム等を配置した。2階については、美術室、木工室、金工室を集め、多目的ホームにて、展示等行えるように配置した。3階は、音楽室、調理室、被服室、4階は、理科室を配置し、教室については、2階から4階まで、東側に配置しており、中央部分は吹き抜けになっている。 プールについては、校舎5階に配置しているが、北側の道幅が5mあるが、東京都安全条例によると、道幅6mの道路が必要であるため、現在、東京都と協議しているところである。以上である。

鈴木委員	階段の横は、エレベーターが設置されるのか。
教育施設 研究所	そうである。
柴田副会長	コンピューター室、図書室はひとつになっているのか。
教育施設 研究所	仕切ができ、変更できる。
谷澤会長	校舎の高さは、どれくらいか。
教育施設 研究所	屋根が付いて、約27mである。
鈴木委員	アリーナの上に、テニスコートはできないのか。
教育施設 研究所	検討したい。
岡田委員	校庭東側には、防球ネットは設置するのか。
田口部長	必要になるろう。この図面では、校長室、事務室が校庭側がないので、監理上、問題があるので見直したい。
西原委員	この図面は、アンケート調査を元につくったのか。
教育施設 研究所	そうである。
谷澤会長	アンケート調査結果については、事前に委員に配布していただきたい。
田口部長	現段階で、すべてを協議するのは不可能であり、実施設計の段階で細かいことは決めていくので、実施設計になると、協議会は離れていく形になる。
西原委員	現先生方の意向は入っているのか。
田口部長	基本設計を示していき、現先生の意見をお聞きしたい。
西原委員	生徒、保護者に要望を聞いているので、先生方にも要望をきちんと聞くべきである。
谷澤会長	アンケート調査結果について、説明願いたい。
教育施設 研究所	要望を取り入れるもの、今後検討するもの、取り入れないものに分けたが、どうしても無理なことについては、取り入れないものとし、要望の言葉につい

	ては、簡略化している。
鈴木委員	実施設計に入っていくと、レイアウトなどの要望は、今後入ってくるのか。
田口部長	基本設計は、粗い設計になり、実施設計は、細かい設計になるので、今後、入ってくるであろう。
岡田委員	9月に開催予定の説明会は、平日の夜間、又は土曜日に行っていただきたい。また、工事車両がどういうルートで通るのかを示していただきたい。
田口部長	説明会の日時は、平日夜7時ごろより開催したい。工事車両のルートについては、青嵐中学校近辺の道路は狭いので、どのルートがよいか検討し、説明会にて示したい。
谷澤会長	意向調査表の「対応」の部分の「計画します」などの言葉は、教育委員会の発言と捉えてよいか。
田口部長	よい。
谷澤会長	次回の協議会は、9月4日、ふれあいセンターで開催したい。 これにて、第11回青嵐中学校建替協議会を終了する。